

# 実践事例紹介

**特別支援学校中学部生徒への  
家庭との連携を重視した積極的  
登校支援**

**～学習時間確保についての一考察～**

## 生徒の実態

- 特別支援学校中学部生徒
- 小学校では通常の学級に在籍していたが、徐々に不登校気味になり、保健室登校をするようになった。
- 家庭では引きこもりがちで、タブレット、テレビ視聴などをして過ごすことが多かった。

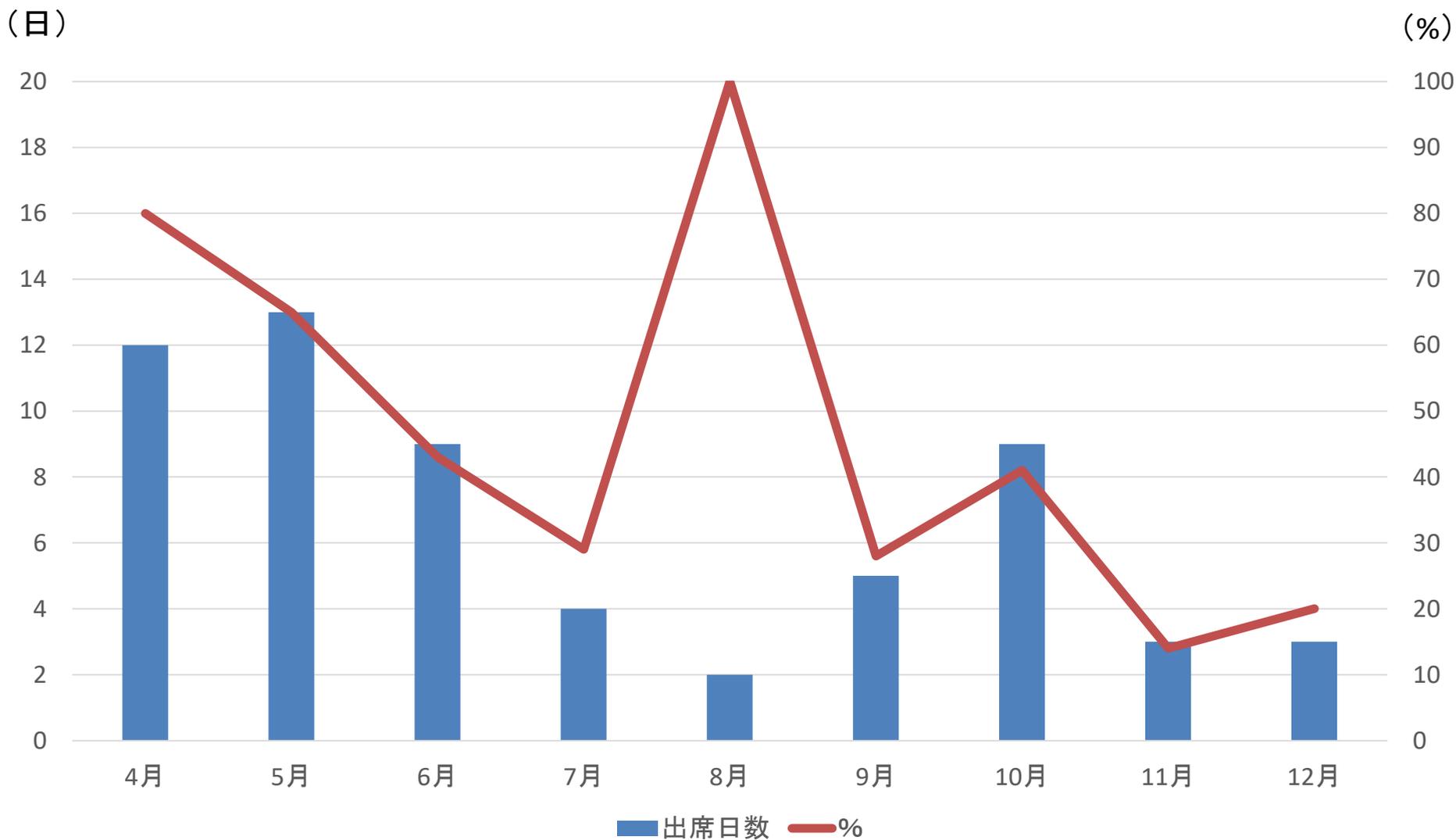
# 特別支援学校中学部1年生での出席状況

\* 登校できた日数

月	授業日数	欠席日数	出席日数	月	授業日数	欠席日数	出席日数
4月	15	3	12	9月	18	13	5
5月	20	7	13	10月	22	13	9
6月	21	12	9	11月	21	18	3
7月	14	10	4	12月	15	12	3
8月	2	0	2	1月	17	15	2

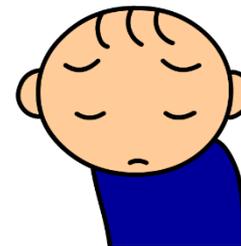
\* 長期休みの補講にはスムーズに登校できる。  
(夏休み2回, 冬休み1回)

# 出席日数及び出席率





# 中学部入学後の 本人の意識の変化



## 6月まで

- 支援学校は、小学校の支援学級とよく似ているだろう。
- 中学生になったので頑張って登校しなくてはいけない。
- 楽しい行事(遠足)に2年ぶりに参加できた。
- 100%の自分を見て欲しい。

## 6月以降

- 自分が思っていた学校とは違っていた。
- 新しい友達や先生の顔や名前が覚えられない。
- 頑張ったけれど疲れてきた。
- 100%の自分を見せられない。

## 保護者の願い

「学校に登校して、学習して欲しい。」

## 教員の願い

「週1回以上登校して、継続した学習経験を積んで欲しい。」

## 指導の方向性

- ①1日の過ごし方について調査(生態学的アセスメント)を継続し、家庭での実態把握を行う。
- ②本人が登校日を自己決定できるように、1週間のスケジュール(週案)を提示する。
- ③学習時間をのばすため、家庭学習に焦点を当てる。一週間分の課題を冊子で渡す、体力作り、作業学習等の内容も取り入れるなどして、宿題の提示の仕方や内容を工夫する。

# ①生態学的アセスメント (桃:タブレット 黄:テレビ)

4/30~5/6



保護者に一週間の生活の様子を記録するように依頼

・家庭学習の継続  
や体力作り, 家から  
一日一回は外に出  
ること, 福祉サービ  
スの利用などを提  
案。

# 保護者，学校関係者，相談機関でケース会を実施

- 具体的な指導・支援方法について共通理解する。
- 家庭と学校で一貫性のある指導・支援を行う。



## ②週案の提示

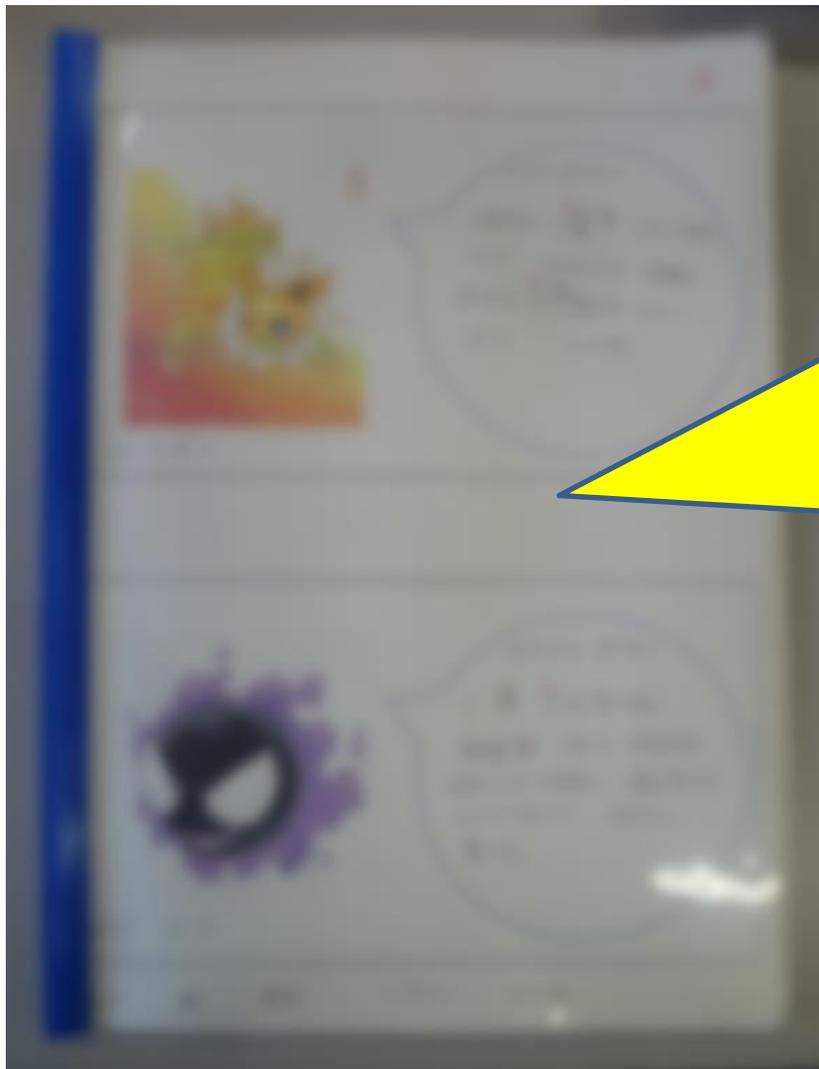
日	月	火	水	木	金
1	10/1	10/2	10/3	10/4	10/5
2	10/6	10/7	10/8	10/9	10/10
3	10/11	10/12	10/13	10/14	10/15
4	10/16	10/17	10/18	10/19	10/20
5	10/21	10/22	10/23	10/24	10/25
6	10/26	10/27	10/28	10/29	10/30

- ・教科担任や担任からのおすすめポイントを記入。興味を引きそうな内容の授業を黄色いマーカーで囲む。
- ・家庭で保護者と話し合い、当日の朝、登校を決定する。

以後、この方法を継続した。

### ③学習時間をのばすための手立て

#### ・一週間分の宿題提示の方法



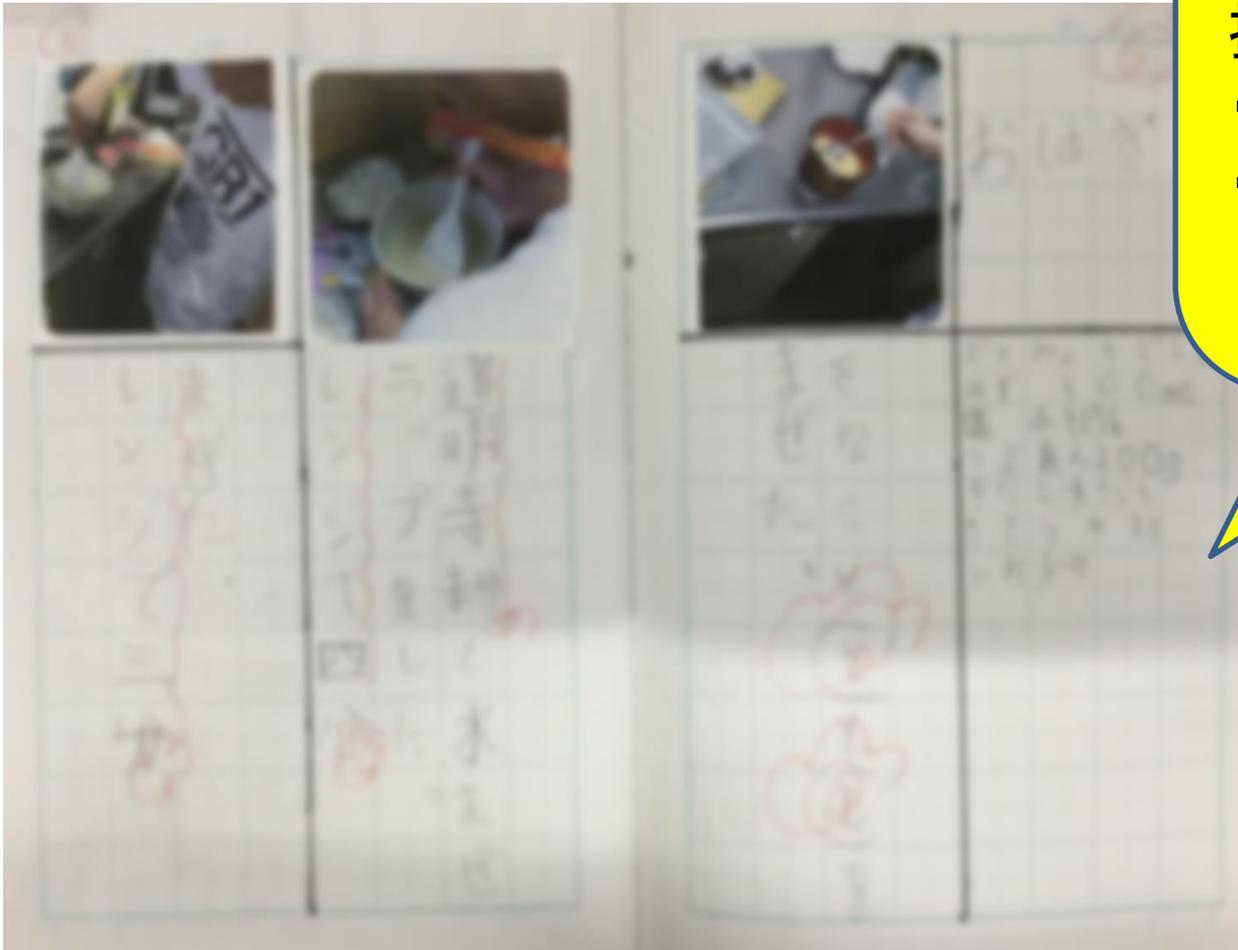
- ・本人の一番の好子であるゲームアプリの問題を自作。
- ・国語, 数学のプリントも挟み込む。(全部で7~8枚)
- ・ゲーム性のあるプリントも(数独など)取り入れる。
- ・一週間に一冊ずつ登校時に渡す。
- ・ポイントに反映。

この方法で宿題を提示することを継続した。

### ③学習時間をのぼすための手立て

#### ・自主学習ノート

- ・自分の興味関心のあることをするように提案。
- ・書き方の例を提示。
- ・ポイントに反映。



### ③学習時間をのぼすための手立て

- ・総合的な学習の時間や作業学習の課題を家庭学習に



- ・文化祭の即売で販売することを目標に提出期限を決定。
- ・完成したらポイントに反映。

- ・教科担任が見本を準備。
- ・学級担任が本人に手順説明。
- ・登校時、本人が提出。

### ③学習時間をのばすための手立て

#### ・音楽の鍵盤ハーモニカ練習を家庭学習に

- ・文化祭の表現会に参加することを目標にする。
- ・学校で担任に聴いてもらえたらポイントに反映。

♪ 星に願いを ♪

① ド (ド) ♭シ ラ | #ファ ソ (レ) - | ミ (ミ) (レ) (ド) | シ (ド) (ファ) -

② (ソ) (ファ) (ミ) (レ) | (ド) ♭シ ラ ソ | (レ) - ミ - | (ド) - - -

③ ド (ド) ♭シ ラ | #ファ ソ (レ) - | ミ (ミ) (レ) (ド) | シ (ド) (ファ) -

④ (ソ) (ファ) (ミ) (レ) | (ド) ♭シ ラ ソ | (レ) - ミ - | (ファ) - - -

⑤ (レ) - (ミ) - (ファ) - - -

きよくじゅんぱん  
曲の順番 ①→②→③→④→ やすみ →③→④→⑤

- ・教科担任が楽譜を準備。
- ・学級担任が練習方法を本人に説明。
- ・登校後、練習の成果を確認。

## ポイントカード



(600円) (品)

## おたのしみポイント レベル3



・特別ポイントがあります！



5点		
・給食	・歯磨き	・筋トレ・スクワット
・着替え	・対面課題	・自立課題
・給食メニューの録音	・自立(コミュニケーション・感覚)	・集会
・お茶を飲む	・トイレ	・下校

①10ポイント貯まったら、シールが1枚はれます。

②金色シールは1枚30円です。 \* 宿題プリントは1枚でシール1枚はれず  
自立ポイントは1A-V

③月の終わりに計算して、お母さんに報告し「おごつかい」をもらいます。

・全ての学習が反映される  
ポイントカード

・スケジュール通りに行うことができれば1Pまたは5P獲得。10Pにつきゴールドシールが1枚。シール1枚につき30円と換金。

・家庭学習のプリントは1枚につきシール1枚，作品や練習も同様にシールを貼ることができる。

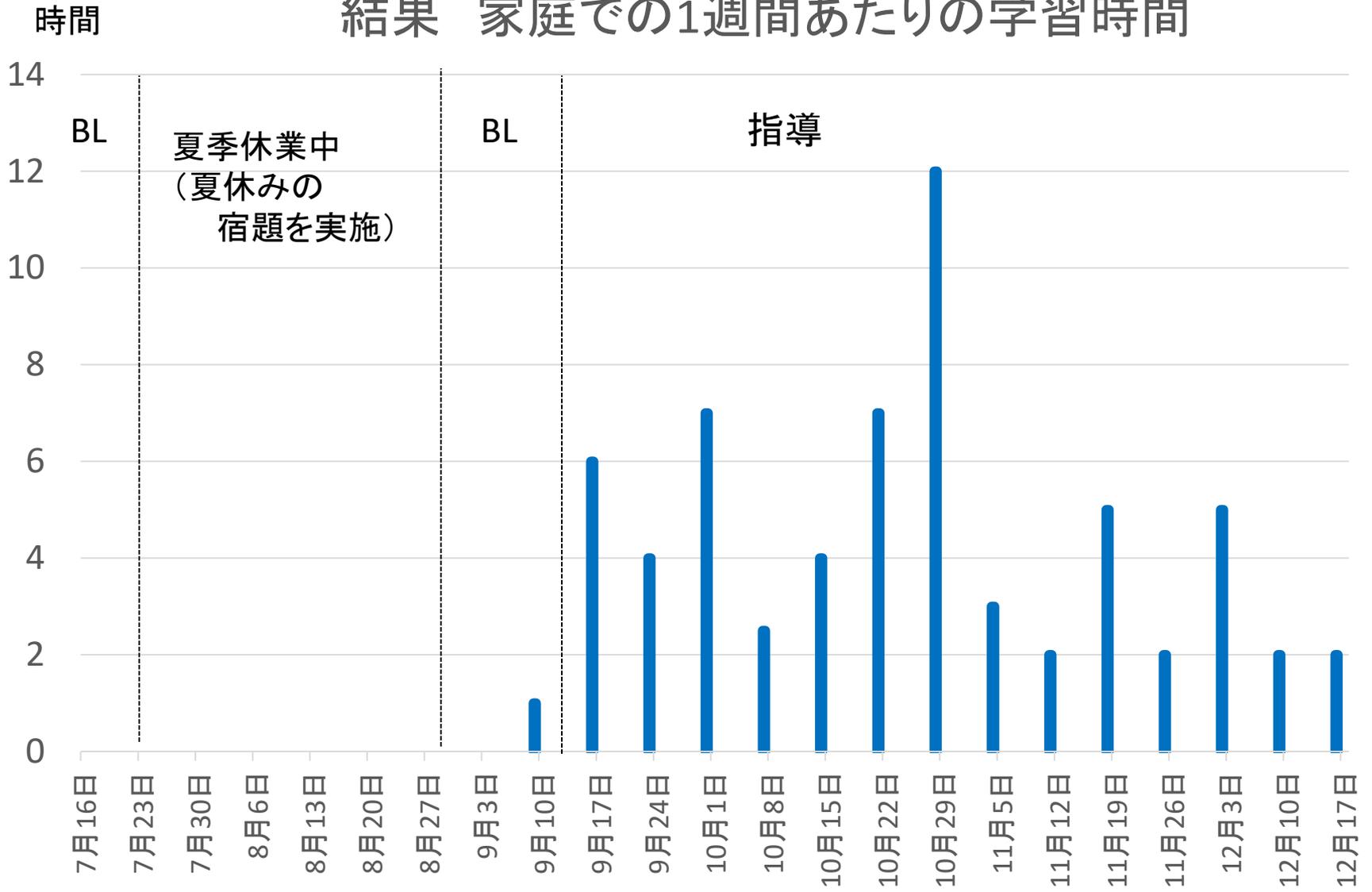
9月・・・32枚(960円)

10月・・・45枚(1350円)

11月・・・37枚(1110円)

12月・・・18枚(540円)

# 結果 家庭での1週間あたりの学習時間

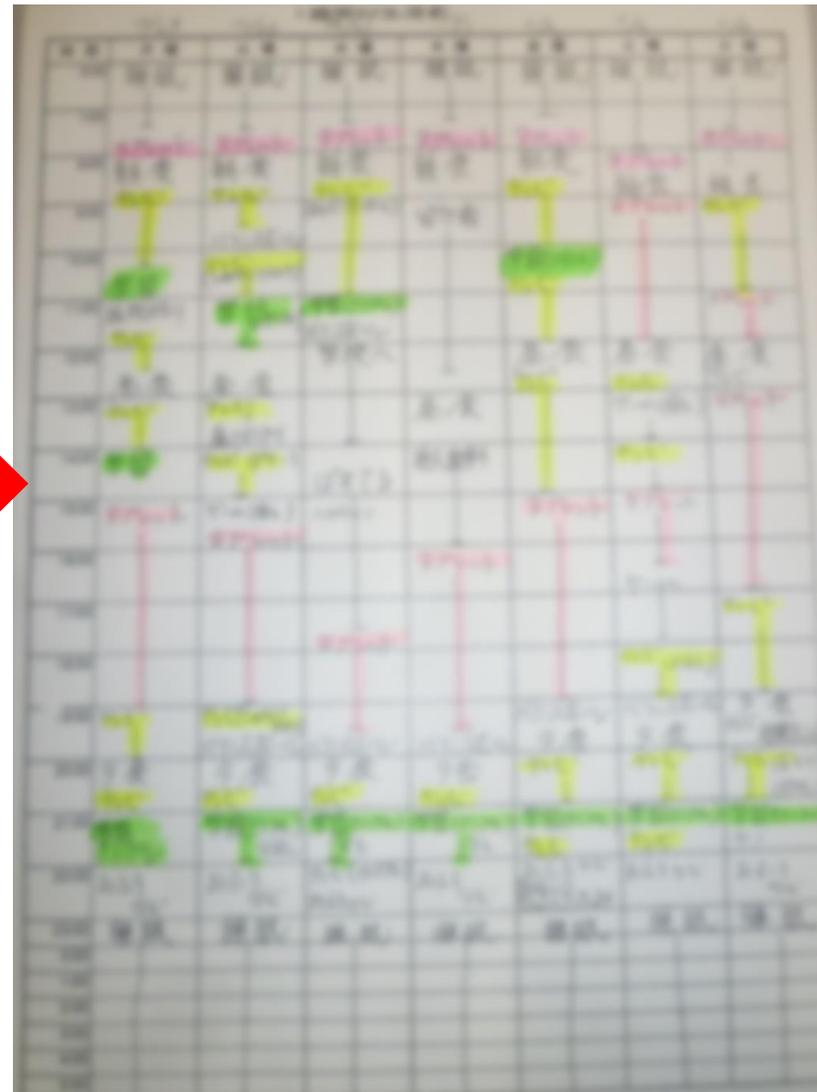


# 学習時間の変化

(桃:タブレット 黄:テレビ 緑:家庭学習)

4/30~5/6

10/29~11/4



# 成果と課題



## 成果

○学習時間の確保については、関係者で共通理解を図り、宿題の出し方を工夫するなどして一定の成果がみられた。

## 課題

- 本人の興味・関心の移り変わりに対応して、新しい視点で宿題提示をする必要がある。
- 登校支援については、保護者との共通理解を十分に図りながら、進学も見据えて取り組む必要がある。

# ここが成功のポイント

- 本人にとって効果の高い好子であるゲームアプリを家庭学習に取り入れた。
- 家庭学習と学校行事を関連づけ、本人の学習意欲を高めることができた。
- 全ての家庭学習をポイントカードに反映させることでポイントを増やすことができた。